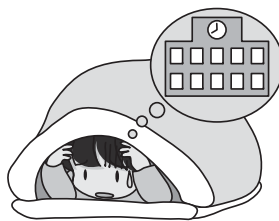


鹿市医郷壇



(495)

樋口一風 選

兼題「仮病(けびよ)」

天

清滝支部 鮫島爺児医
 子ん仮病い注射ち言たやひん治つ
 (唱) 痛てた嫌じゃち渋々登校
 (評) 子供の様子で単なる甘えだとすぐみぬきました。心配するほどのこともなさそうなので、病気だと心配だから、お医者さんに注射をしてもらうと治るから行こうと言つと、もつ治つたと言います。
 でもお医者さんは注射、お巡りさんは怖いものと、恐怖観を植え付けるのもどうかと思いますが、腕白坊には注射は効きます。

地

伊敷支部 谷山五郎猫
 仮病じゃち診た医者どんな悩む聞つ
 (唱) 名医が治えた心ん病
 (評) いわゆる登校拒否の児童か、何か心配ごとでもある人のことがよく分からないが、仮病を使って引籠っています。心理カウンセラーと言うのでしょうか、ドクターの勘は何か捉えました。
 仮病までして悩む患者さんにドクターはしっかりと寄り添っておられます。

人

上町支部 吉野なでしこ
 ずる休ん仮病がばれたや酷で目遭つ
 (唱) 叱られた上い減つたポーナス
 (評) 病気でもないのに会社を休むのは完全な職場放棄です。ずる休みが、ばれたら叱られるのは当たり前のことです。
 どんなお仕置があつたのでしょうか。
 次からは、ばれないように上手に休みましょ。でも、やはり真面目に働くのが一番でしょ。

五客一席 清滝支部 鮫島爺児医
 夫婦喧嘩腹が痛かち先きけ寝つ
 (唱) 分が悪い時きな寝室ち逃避

五客二席 伊敷支部 谷山五郎猫
 コロナじゃち冗談き仮病も言もならじ
 (唱) 其ゆ言たぎいな世間な大騒動

五客三席 上町支部 吉野なでしこ
 朝寝坊が仮病ん届け見舞ん客
 (唱) 頭が痛てち大袈裟い言つ

五客四席 飛脚子一郎
 赤子かあ母をば取るち姉あ仮病
 (唱) 構もつ貰をち痛て真似もしつ

五客五席 紫南支部 二軒茶屋電停
 無理すんな仮病でん良かて休め言つ
 (唱) 仕事つし過ぎち心配を焼つ親

髪をけずる暇もなく、手で撫でつけないから駅へ走っていく朝寝坊の姿が目につかんてくるが、洗面や歯磨きはしたかなとおかしくなる。

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医
 好かん会や仮病どん使こつ寝てさぼつ
 腹が痛て言たやまたかち笑るわれつ
 仮病を使こ理由が深かで難病じやる
 借い相談仮病どん使こつ場を逃げつ
 マラソンの腹が痛て言てサボつ観つ
 朝寝しつ仮病を使こたや見舞が来つ

伊敷支部 谷山五郎猫
 仮病んため昔しや擦つた体温計
 仮病じゃちばれちよい床ん酔漢

飛脚子一郎
 抱け言こつ足が痛たかち娘ん甘え

薩摩郷句鑑賞 136
 薩摩狂句曆から 三條風雲児著
 からからは梅が咲つとが待つ長こし
 酒匂 えみ
 今日立春、曆の上では春である。昔

から、「梅の花が散る頃がいちばん寒い」とよく言われたものだが、ようやく梅もちらほら咲き始めたばかり、本格的な寒さはこれからだろうか。
 とここでこの句は、梅見の酒を飲みたくて、梅の咲くのを待ちわびている人の心情を詠んだものであるが、あたかも酒器が待ちこがれているように、擬人法で表現している。
 「からから」は、銚子や徳利の仲間ではあるが、独特の形をした焼酎をつぐ器。
 寝忘れつ髪手で撫でつ駅き走つ
 長瀬ヨシ子
 「寝忘れた」といつと、寝るのを忘れてしまったように聞こえるが、鹿児島では「寝過こした」ことである。

誠に面白い言葉だと思う。よく片手運転をしながら、電気剃刀を使っている危険極まりない男や、信号待ちをしながら、パフで顔を叩いている女性を見かけるけれども、いずれも「寝忘れ」組である。

薩摩郷句募集

4号
 題吟 「入学(にゅがつ)」
 締切 令和3年3月5日(金)
 5号
 題吟 「恥ね(げんね)」
 締切 令和3年4月5日(月)
 選者 樋口一風
 漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

応募先 千八九二・〇八四六
 鹿児島市加治屋町三番十号
 鹿児島市医師会 鹿児島市医報編集係
 TEL 〇九九・二二六・三七三七
 FAX 〇九九・二二五・六〇九九
 E-mail : ihou@city.kagoshima.med.or.jp